



🌱 営農支援情報

◆主要花卉の現状と栽培ポイント◆

今月は、梅雨入りとなります。この時期は豪雨なども予想されますので、あらかじめ明渠（めいきょ）を掘るなど気象災害に万全な対策を講じてください。降雨後は、病害が発生しやすくなりますので、必ず薬剤散布による防除を行いましょう。年によっては空梅雨となり、好天続きで害虫の発生が多くなることもあります。日頃の観察を怠らず、適期作業による高品質生産を心がけることが大切です。また、この時期は真夏のような気温が続くことがあり、降雨の少ない日が多い場合は、圃場に灌水するなど臨機応変に対応してください。

【露地ギク】：ギクは本県花卉生産の販売額第一位品目となり、全体の約4割を占める。

■摘芯した株から3～6本のわき芽が伸びていますので、そのわき芽が輪ギクで3本、小ギクで4～5本となるように整枝します。勢いが強い枝や弱い枝を付け根からかき取り、平均的な枝を残すのがポイントです。定植が遅れたところや側枝の伸びが悪い圃場では液肥や灌水を積極的に行い、ボリュームアップと初期生育の確保に努めてください。

■梅雨時期は「白さび病」の発生に注意が必要です。整枝が遅れ、枝や葉が込み合うと発生を助長しますので、適期作業に努めてください。薬剤散布は1週間間隔で、予防剤を主体に発生を確認したら治療剤に切り替え、被害の拡大を防ぎます。また、ハモグリバエ、アブラムシ、ミドリカスミカメムシ、キクスイカミキリムシ等も発生する時期です。薬剤散布の際は殺虫剤も散布してください。



白さび病

■薬剤散布は、できるだけ午前中の涼しい時間帯に行い、周囲の農作物への飛散防止に十分注意しましょう！

【トルコギキョウ（8月出荷作型）】：主な産地は県南・中央地区、9月～10月出荷の抑制栽培が主流。

■草丈が15～20cmになるとチップバーンや茎折れの発生が多くなります。これらの障害は、多肥栽培や軟弱な株ほど発生しやすいため換気を図り、灌水過多にならないよう土壌水分管理に注意してください。また、チップバーンの発生が多い品種や樹勢が強くなりすぎた場合は、定植後1カ月頃から出蕾期にかけて、カルシウム質資材を10日間隔で3～4回散布し予防しましょう。

■出蕾後の主枝中心花の摘蕾は、蕾が小豆大になったら行ってください。摘蕾が遅れると蕾に栄養が取られ花蕾のバランスが悪くなるため、摘蕾する蕾の大きさが3cm以内の時期まで実施してください。



チップバーン

【リンドウ】：全国2位の品目。平成14年の作付け開始以降、水田転作に適した品目として中央・県南地区中心に面積を拡大。平成30年度の販売額は5億円を突破。

■6月は茎の曲りが発生しやすい時期なので、ネット上げはしっかりと行ってください。1番下のネットは草丈の半分の位置、最上段のネットは草丈の8割までの位置とし、2段目のネットが最上段と最下段の中間の位置になるように調整します。ネット上げの際にネットから茎がはみ出る場合があるので、ネット上げが終わったらはみ出た茎をネットの中に入れ込みます。

この時、茎を折らないように注意してください。



■病害では「葉枯病」に加え、6月下旬から「褐斑病」が発生しやすくなります。6月下旬～7月下旬までの時期に「ストロビーフロアブル」や「アフェットフロアブル」を用いて防除してください。

【シンテッポウユリ】：露地水田転作できる種子系のユリで、主に鹿角市と横手市で栽培。

■梅雨期は、「葉枯病」の発生が多くなる時期です。薬剤散布は新葉の展開速度に合わせて7～10日に1回としますが、降雨によって「葉枯病」の発生が助長されますので、降雨後は必ず散布してください。株全体に薬剤が十分かかるように行ってください。

■ネットの引き上げ時期が遅れると、曲りの発生につながるの、こまめに引き上げを行ってください。



【ダリア】：平成19年から本格的に栽培が始まり、世界的に著名なダリア育種家である秋田国際ダリア園の鷲澤幸治氏と秋田県が共同開発した秋田県オリジナルダリア「NAMAHAGE[®]ダリア」を主体に生産振興を進めダリア業界をけん引している。

■生育が旺盛になる時期です。ネットを引き上げて曲がらないようにしてください。下段のネットは地面から20～30cmの位置まで上げたら固定し、上段のネットは生育に応じ適宜引き上げ、通路にはみ出てくる新芽は軟らかいうちにネットの中に入れ込んでください。

■豪雨などで排水不良になりやすい圃場は、あらかじめ明渠を掘るなど気象災害に万全な対策や準備をしてください。



◆各品種とも、うどんこ病やハダニ、スリップス、アブラムシ等の病害虫が多く発生する時期です。適宜に防除を行いましょう◆

◎品目ごとの詳細については、各産地の栽培暦や技術情報を順守してください。

Zennoh-akita agriculture+reform
Za・あぐりふぉーむ



J A全農あきた営農情報誌 Za・あぐりふぉーむ
第64号 令和7年6月5日発行

編集・発行 J A全農あきた営農支援部営農支援課 〒011-0901秋田市寺内字大小路207-24 018-880-1011